



RENGO - NAGASAKI
SASEBOCHIKYO

連合長崎 させぼ

NO. 54

連合長崎 佐世保地域協議会

〒857-0851 佐世保市稲荷町 2-2 8

TEL (0956) 20-0565/FAX (0956) 20-0567

発行日：2022年3月16日

発行責任者：古川 洋介

連合「2022春季生活闘争勝利！ 政策・制度要求実現！」に向けて



佐世保地域協議会
議長 梶本 洋

「2022春闘勝利！」に向けて連合佐世保地協に結集する、すべての構成組織と組合員の皆様に感謝とお労いを申し上げます。さて、2月20日に投開票された「長崎県知事選挙」では、ご承知のとおり厳しい結果となりました。連合長崎・佐世保地協として、この結果を重く受け止め、次の選挙に向けて取り組んでいかなければなりません。言葉足らずであります。構成組織の皆様におかれましては、コロナ禍であったにも関わらず、知事選へのご協力に心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。

いよいよ「2022春闘」が始まりました。これまでと同様に、労働組合が前に出て社会経済のけん引役を果たすことが求められています。すべての組合が賃上げに取り組むことで、「底上げ」「底支え」「格差是正」を加速させ、経済の自律的な回復につなげていくことが重要です。将来に希望の持てる社会づくりを通じて活力を創り出し、コロナ禍であっても、今後の社会へ活かしていくことも不可欠です。そのためにも政策制度実現が求められており、また夏の参議院議員選挙では働く者・生活者の立場にたった政治勢力の拡大が極めて重要であり、今度こそ「白川あゆみ」の当選と、各構成組織が支援する「比例区」候補者の当選に全力で取り組んでいきます。すべての構成組織の組織拡大・強化の取組みを通じ、労働組合の更なる前進と「2022春闘勝利！」へ共に頑張りましょう！

最後に、世界の多くの国々の説得を受けながらも2月末からロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まり、これまでに多くの犠牲者が出ている事に対し、非常に残念でなりません。武力では何も解決することはなく、憎しみしか生まれないと私は思っています。被爆国、そして被爆地長崎県民として、そして未来ある子供たちのためにも軍事侵攻の中止・撤退を求めて連合佐世保地協一枚岩となってアピール行動を展開していきましょう！



北松ブロック連絡会議
代表 家本 泰輔

連合長崎・北松ブロックで代表を務めております家本です。

日頃より、各産別を通じて連合活動にご協力賜り感謝申し上げます。

さて、「2022春闘」についてですが、今次春闘は「未来づくり春闘」として、近年における『官製春闘』の流れを抜本から見直し、賃金・一時金のみならず、W・L・B（ワーク・ライフ・バランス）、格差改善など、労働条件の底上げも意識しながら、将来に向けて今何が必要なのかを労使で話し合い、積極的かつ継続的な「人への投資」に向けた取り組みを労使で展開しなければなりません。

次に、「政策実現」についてですが、今夏7月に施行予定の「第26回参議院議員選挙」において、私たち労働者・長崎に暮らす生活者の視点に立った、同調意識のある候補者の擁立が必要です。また、擁立だけでなく支援・支持を行い、国政の場へと送り出してからが本当のスタートだと言えます。政治への関心が希薄になっていますが、同じ志を持つ者の存在は、春闘同様に「未来づくり」へと発展していきます。皆さんの意志を示す場として投票行動をお願い致します。今次春闘が皆さんの生活へ明るい兆しをもたらすことを切に願い、組合員・ご家族・働く仲間のご健康・ご多幸を祈念致します。

共に頑張りましょう！

政策・制度要求実現への取り組み！

◆運動の両輪としての「政策・制度実現の取り組み」【連合長崎 2022 春季生活闘争方針】

政策・制度の実現を春季生活闘争の労働諸条件改善の取り組みとともに運動の両輪として引き続き推し進める。「働くことを軸とする安心社会—まもる・つなぐ・創り出す—」の実現に向けた政策課題やコロナ禍への対応、SDGsの推進等について、行政・政党・各議員への働きかけ、審議会対応、「連合アクション」などを通じた世論喚起など、連合長崎・地協・構成組織が一体となって幅広い運動を展開します。

◆くらし・政策

よりよく働くためには、仕事以外の生活の安定も不可欠です。佐世保地域協議会は、くらしやすい社会を目指し、社会保障や医療、環境、税制問題にも取り組んでいます。また、働く者、生活者がより働きやすい社会、くらしやすい社会、誰一人取り残されることのない社会の実現を目指して、毎年、佐世保市に対し、政策提言を行っています。また、今後、松浦市、平戸市、佐々町等他の市・町に対しても政策提言を行うよう北松ブロックと連携し検討していきます。

◆政策実現行動

政策、政治など大きな視野で働く人をサポートするため働く者、生活者の立場から政策・制度について提言を行っています。企業内組合だけでは対応が難しい産業全体、あるいは労働者・国民全体に関わる課題（※労働関係の法律の制定・改定、税制・社会保障制度など）に取り組んでいます。企業の枠組みを超えて働く仲間が連帯することで、国や社会に対して大きな影響力を発揮できます。

第26回参議院議員選挙「長崎選挙区」

連合長崎「白川あゆみ」氏を候補予定者として推薦決定!!



連合長崎高藤会長から推薦状の手交



佐世保地協榎本議長から推薦状の手交

連合長崎は、1月以降、組織内議論を開始して以降、最終的には連合長崎第5回執行委員会（2022. 2. 9/開催）において「政策協定締結」を前提に「白川あゆみ」氏を「推薦」することが提起され、推薦決定がなされました。また、佐世保地域協議会においても、北松ブロック・長退連と連携し、連合長崎政治方針に沿って取り組みを進めるべく佐世保地域協議会第3回幹事会（2022. 2. 24/書面開催）において「白川あゆみ」氏の推薦を確認しました。今後、闘う体制を構築し、各産別の擁立候補予定者と共に勝利を掴み取る為の活動を展開します。皆様の絶大なるご支援・ご協力をお願いします。

～ご挨拶～



白川 あゆみ 氏

この度は、ご推薦を頂きありがとうございました。連合長崎佐世保地域協議会の皆様のご期待と信頼に応えるため、死力を尽くして戦い抜き何としても勝利致します。

今回の戦いは、絶対に負けるわけにはいきません。三年前と比べ私たちの暮らしは大きく変化しました。コロナにより、体が傷つき、心も傷つき、暮らしも大きく傷ついてしまいました。また、先般のロシアのウクライナ侵攻により平和さえも脅かされています。今こそ、一人一人に寄り添う優しい政治が求められていると思います。

白川あゆみは、組合員の皆様とご家族の体・心・経済の健康のために全力を尽くします。最後の最後までご支援下さいますようお願い申し上げます。

第26回参議院議員選挙 連合推薦候補者 (比例代表：産別擁立候補予定者)



2022年7月に予定されている参議院選挙に向けて、
連合は、政策を共有する候補者を推薦しています。

現在の連合推薦候補者は以下のとおりです(2022年3月3日現在)。



◆川合 孝典
◆UA ゼンセン
◆国民民主党
◆現職(2期)



◆浜口 誠
◆自動車総連
◆国民民主党
◆現職(1期)



◆鬼木 まこと
◆自治労
◆立憲民主党
◆新人



◆矢田 わか子
◆電機連合
◆国民民主党
◆現職(1期)



◆村田 享子
◆基幹労連
◆立憲民主党
◆新人



◆しば 慎一
◆JP 労組
◆立憲民主党
◆新人



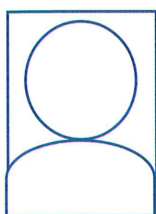
◆古賀 ちかげ
◆日教組
◆立憲民主党
◆新人



◆竹詰 仁
◆電力総連
◆国民民主党
◆新人



◆石橋 みちひろ
◆情報労連
◆立憲民主党
◆現職(2期)



◆氏名
◆出身産別
◆政党名
◆現職/新人

※ 各候補予定者の SNS・ホームページもチェック!

～ 長崎県知事選挙 中村ほうどう候補 惜敗 ～ これまでのご支援に感謝申し上げます！

長崎県知事選挙（公示：2月3日／投票：2月20日）は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う「まん延防止等重点措置」が適用、延長される中での選挙戦となり、中村候補者本人も公務を最優先とする対応となり期間中は候補者不在の選挙戦となりました。

また、中盤戦からの相手陣営の激しい巻き返しもあり大変厳しい戦いを強いられたところです。そのような状況のなか、中村候補を支援する各種団体、議員団はもちろんのこと「連合長崎佐世保地協」、「北松ブロック」、「長退連」の各構成組織・各単組・各単会の皆様方には組織の総力を挙げての取り組みを頂きましたが、「中村ほうどう」氏の四選を果たすことができませんでした。

これまでの取り組みに関し、心からの敬意と感謝を申し上げます。

今回の結果を受け止め、しっかりと前を向き、本年夏に予定される第26回参議院議員選挙「長崎選挙区」と各構成組織が組織内候補者を擁立する「全国比例区」の取り組みに繋げましょう。



佐世保地区出発式 / (2月4日)



街頭アピール行動 / 佐世保事務所前
労組役員の皆さん (2月16日～18日)



街頭演説 / 佐世保市役所前
櫻本地協議長の必勝ガンバロー



マイク納 / 佐世保事務所前
櫻本地協議長より挨拶



お礼を述べる中村ほうどう氏

【長崎県知事選挙開票結果】

●当日有権者数	1, 106, 346 人		
●投票率	47.83%		
●得票数	中村 ほうどう	(71才：無所属 現)	238, 874票
	大石 賢吾	(39才：無所属 新)	239, 415票 (当)
	宮沢 由彦	(54才：無所属 新)	46, 794票



連合長崎・佐世保地域協議会 北松ブロック連絡会議 「2022春季生活闘争勝利！政策・制度要求実現！」に向けた 共同メッセージ

私たち、連合長崎・佐世保地域協議会、北松ブロック連絡会議は、「長崎の未来をつくる。みんなで作る。」というスローガンのもと、2022 春季生活闘争を最後まで粘り強く闘い抜く事を決意し、すべての組合が、要求に沿った回答引き出しをめざし、精力的に交渉を進めています。

日本は20年以上にわたりデフレ経済から抜け出せずにあります。そこにコロナ禍が直撃し、多くの働く仲間が深刻な影響を受けており、この現状を私たち労働組合がけん引役となって変えていかなければなりません。そのためにも、経済の後追いではなく、経済・社会の活力の原動力となる「人への投資」を何としても実現する必要があります。

あわせて、「働くことを軸とする安心社会」を構築し、将来への不安を払拭することができるよう、連合長崎推薦議員と連携し、私たちの求める政策・制度の実現に向けた取り組みを強力に推進していく必要があります。

そのためにも、7月施行予定の第26回参議院議員選挙において連合長崎が推薦する長崎選挙区「白川あゆみ」候補予定者と各構成組織が全国比例区で擁立する「すべての擁立候補予定者」の全員の当選を果たし、連合の「理念」を共有する、多くの仲間を国政に送り込み政策の強化と実現を果たさなければなりません。

2022 春季生活闘争はいよいよヤマ場を迎えます。労使は社会的責任を果たすため、今こそ答えを出す時です。すべての労働者に対する「人への投資」こそが、社会の持続性を確保するための原動力であり、「職場の」、「企業の」、そして、長崎の未来をつくるべく、断固たる決意をもって、「連合長崎・佐世保地域協議会」、「北松ブロック連絡会議」、「各労働組合」から職場に至るまで、組織の総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘い抜きましょう！



2022年 3月 16日

連合長崎佐世保地域協議会
議長 榎本 洋

北松ブロック連絡会議
代表 家本 泰輔

世界の恒久平和を！ No War! NO NUCLEAR WEAPONS!

ロシアのウクライナ軍事侵攻に対する連合の取り組みについて

2022年2月21日、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領は、ウクライナ東部の親ロシア派勢力が掌握する2つの地域の独立を承認し、同24日、ウクライナへの軍事侵攻を開始しました。これら一連の行為は、ウクライナの領土と主権を侵害し、紛争の平和的解決を義務付ける国際法に反するものです。

さらに、軍事侵攻に際しての核兵器保有誇示の姿勢や核兵器の使用を示唆する発言、同27日の戦略的核抑止部隊への「特別警戒」命令など、これらは本年1月にロシアを含む核兵器保有5カ国が発出した共同声明にも反するものです。

連合として、この軍事侵攻を厳しく非難するとともに、即時の作戦中止・撤退と核兵器反対・恒久平和を強く求めます。

連合会長メッセージ



日本労働組合総連合会
芳野 知子 会長



連合三役アピールボードアクション

皆さんこんにちは、連合会長の芳野です。私たち連合は結成以来、核兵器の廃絶そして平和で、安定した社会暮らしの実現を目指しています。残念ながらウクライナの地では、ロシアによる軍事侵攻が続いています。報道によれば、子どもを含め多くの民間人が犠牲になっており、これまでの平和な暮らしが脅かされています。ウクライナ東部地域の一方的独立承認など、この間のロシアの行為はウクライナの領土と主権を侵害し、紛争の平和的解決を義務付ける国際法に反するものです。連合は、ロシアの軍事侵攻を厳しく非難し即時の作戦中止と撤退を強く求めます。ロシアのプーチン大統領は、核兵器を使用する部隊に警戒態勢を強化するよう指示したと報道されています。非人道的な核兵器の使用はもとより、核兵器の力を背景に圧力をかけること自体、到底許されるものではありません。

今から77年前、広島と長崎に原子爆弾が投下され、多くの尊い命が奪われました。一瞬で「人の命が」、「日常が」、「大切なものが」奪われるあのような悲劇を繰り返してはなりません。日本政府には、ロシアの軍事侵攻に対して諸外国と連携して、收拾に向けた動きを加速することを求めます。私たち連合は核兵器のない平和で安定した世界をめざして皆様と共に取り組みを続けていきます。連合はウクライナ国民と連帯します。

以上

※「連合会長アピール」・「連合三役によるアピールボードアクション」については、連合ホームページおよびSNSで発信されていますので、動画の視聴およびその拡散をお願いします。

